

コース名	高度ソフトウェアエンジニアコース		
講座名	情報教育支援士講座		
科目名	情報教育の理論		
必修・選択	必修	単位	2
概要・目的	小・中・高校における教育の情報化の状況、情報教育の目標や内容について把握し、情報教育支援の意義や仕事の内容、仕事の実態等について理解する。さらに、児童生徒に接する際の留意点等、情報教育支援士として学校現場で活動するために必要な教育に関する基礎的な知識を修得する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校における教育の情報化の状況について理解する。 ・情報教育の意義や目標、内容について理解する。 ・情報教育支援の意義や仕事内容について理解する。 ・情報教育支援士に必要な教育に関する基礎的な知識を修得する。 		
授業方法	講義＋演習	実施形態	遠隔非同期
評価方法	各回の授業で行う課題、および各授業担当者から出される提出課題、授業への参加度を総合して評価する。		
授業項目	1	情報社会で求められる能力と教育の情報化	
	2	情報活用能力の育成（プログラミング的思考の育成を含む）	
	3	ICTを活用した学習指導とその事例	
	4	教育データの活用と教育情報セキュリティ	
	5	情報モラル教育と情報セキュリティ教育	
	6	校務の情報化と教員研修	
	7	ICT環境の整備と遠隔・オンライン教育	
	8	ICTを活用した授業設計と教材開発	
	9	教育の情報化の推進（1）	
	10	教育の情報化の推進（2）	
	11	学校での情報教育支援（1）	
	12	学校での情報教育支援（2）	
	13	情報教育支援の方法	
	14	求められる資質・能力	
	15	ICT支援員という仕事（学校の現在の状況と情報通信技術支援員の業務の実態）	
使用教材	西野和典編著「情報通信技術を活用した教育の理論および方法」、実教出版（2023）、及びスライド資料		
特記事項	講師3名で実施。2名は、ICT支援員に対する指導経験あり 質問対応を遠隔同期（Zoomを利用）で実施する（希望制）		